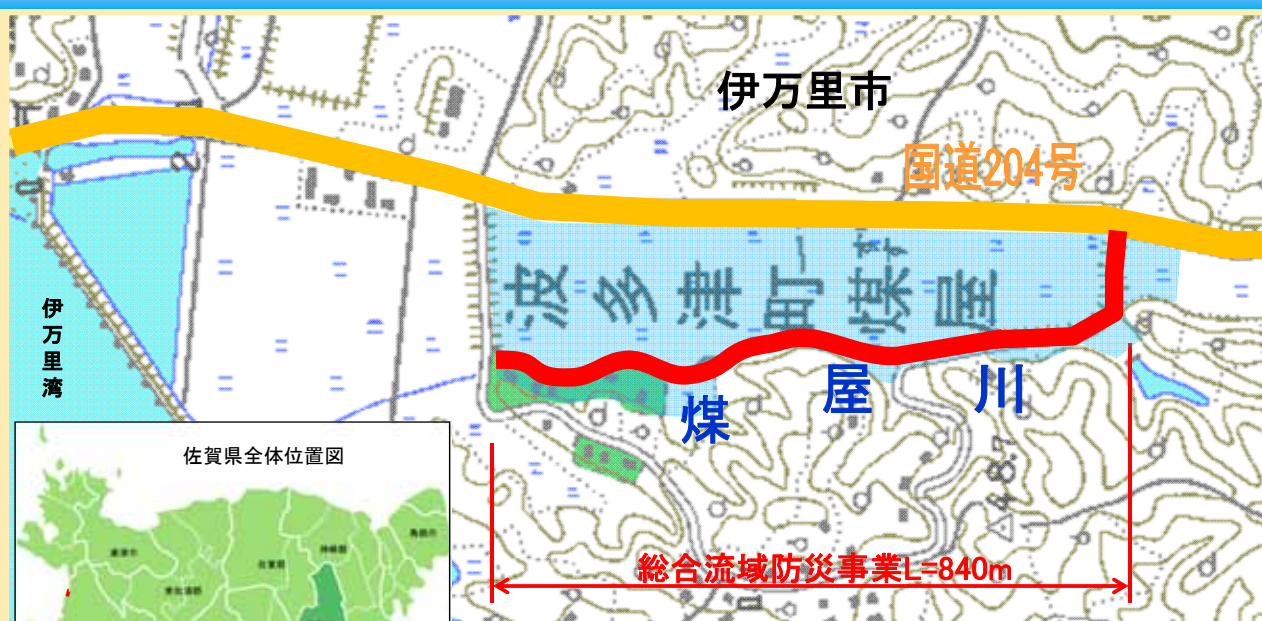


平成26年度 再評価委員会

河川名：煤屋川水系煤屋川
事業名：総合流域防災事業
(事業採択後10年経過)

1

位置図



2

事業目的

○流下能力不足による浸水被害が発生

被害項目		平成14年9月洪水	平成18年9月洪水
浸水戸数	床上	0戸	1戸
	床下	8戸	7戸
浸水面積		10.3ha	10.3ha

○浸水被害の軽減を図る

- ・流路是正、河道拡幅、狭窄部解消、
流下阻害となる構造物の改築を実施
- ・治水安全度の向上を図る
計画流量 20m³/s
計画治水安全度 1/10

3

平成14年9月（豪雨）煤屋川



●平成14年9月洪水
浸水戸数 床下8戸、床上0戸
浸水面積 10.3ha

●平成18年9月洪水
浸水戸数 床下7戸、床上1戸
浸水面積 10.3ha

平成14年9月16日洪水の状況

気象庁 伊万里観測所

○H14.9.16～9.17

連続雨量 ……………239mm

最大日雨量 ………238mm

時間最大雨量 …… 86mm

○H18.9.15～9.16

連続雨量 ……………299mm

最大日雨量 ………289mm

時間最大雨量 …… 94mm



4

平成26年8月（豪雨）煤屋川



平成26年8月5日洪水の状況



気象庁 伊万里観測所

○H26.8.3~8.5

連続雨量 ……………239.5mm

最大日雨量 ………119.0mm

時間最大雨量 …… 27.5mm

煤屋川総合流域防災事業

着手年：平成17年度
事業地：伊万里市

○事業概要

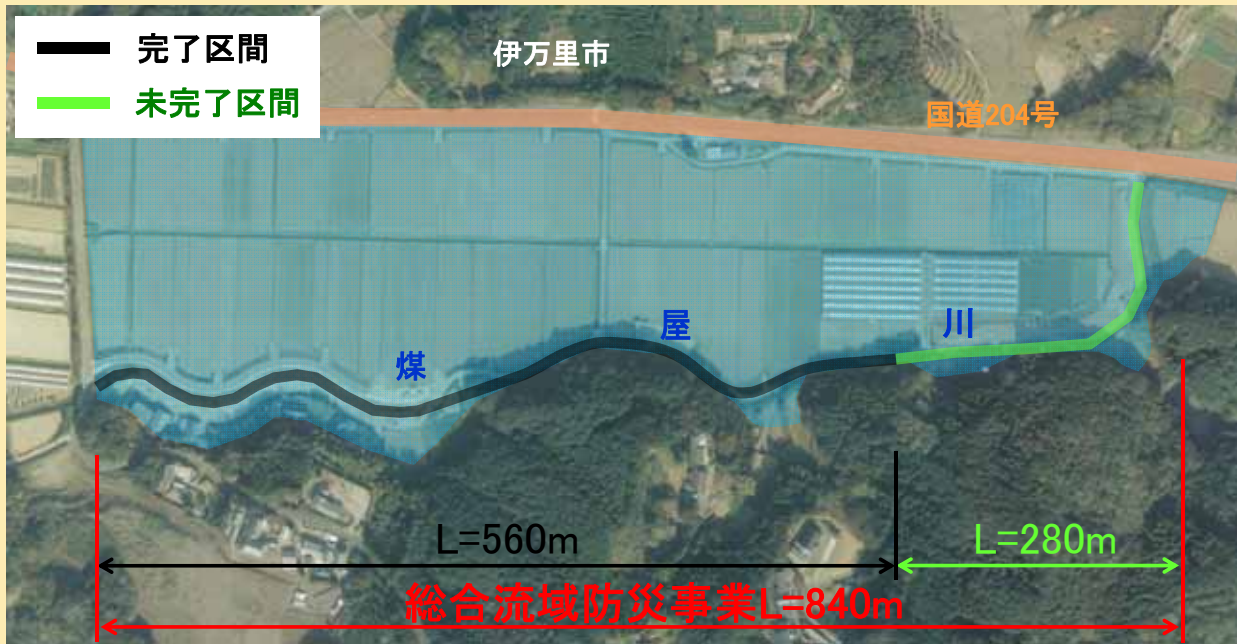


- ・全体事業費 510百万円
- ・事業期間 H17~H28
- ・改修延長 840m
- ・計画流量 20m³/s
- ・計画治水安全度 1/10
- ・掘削・築堤・護岸、
橋梁5橋、堰2基

標準断面図



煤屋川 航空写真



○事業進捗状況

- ・下流から河川延長で560mの改修は完了している。
- ・H25年度末進捗率 76%(事業費ベース)
- ・年平均進捗率 8.4%

7

費用対効果 B/C

総費用額C: 治水施設の整備及び施設完成後50年間の維持管理に要する総費用

総便益額B: 治水施設整備によってもたらされる施設完成後50年までの総便益額

(被害軽減額)

(総費用額C及び総便益額Bをそれぞれ現在価値化し比較する)

総費用C: 640百万円

総便益B: 776百万円

内訳

・一般資産被害(家屋、家庭用品、事業所資産、農漁家資産)	348百万円
・農作物被害(水稲、畑作物)	38百万円
・公共土木施設等災害被害(道路、橋梁、農地等)	358百万円
・間接被害(応急対策被害等)	18百万円
・残存価値	14百万円

費用対効果

$$B/C = 776 / 640 = 1.21$$

8

改修完了区間の状況 (1)

集落前の状況 (No.5付近下流より)



No.5付近の状況 (上流より)



改修前の状況



改修前の状況 9

改修完了区間の状況 (2)

新田橋下流の状況 (No.10付近)



新田橋の状況 (No.11付近)



改修前の状況



改修前の状況 10

改修完了区間の状況 (3)

道府橋の状況 (No.24付近)



改修前の状況



11

改修未完了区間の状況

No.36付近より下流の状況



No.32付近の状況



12

今後の煤屋川総合流域防災事業の継続について

☆河川改修の効果☆

- ①治水安全度の向上
- ②近年の洪水による浸水の軽減
- ③地域住民の安心・安全の確保

☆今後の事業展開☆

- ・事業を継続し、早期完成を図りたい